

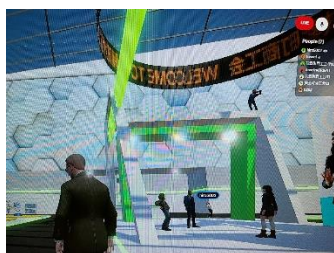
メッセナゴヤ 2023 出展事業成果報告

コロナ第 5 類移行に伴い活況が復活！ 扶桑町商工会より 3 社が出展しました！

本年のメッセナゴヤは新型コロナウイルスが第 5 類に移行したこともあり、コロナ以前の活気を取り戻したかのような雰囲気で開催されました（リアル開催は名古屋金城ふ頭・ポートメッセなごやにて 11/8（水）～10（金）・オンライン開催は 11/1（水）～30（木））。当商工会から愛知県の認定する経営革新計画の認定事業者である、ダイワ化工株式会社、株式会社セイシンエコーポレーション、株式会社名古屋モルドの 3 社と扶桑町商工会が出展しました。昨年度新たにオープンした第 1 展示場にて開催されたリアル展示会では、3 日間で昨年度を 1 万人以上上回る、5 万 2 千人を超える来場者があり、出展した 3 社は積極的に取引拡大の商談、自社の情報発信、業種・業態の枠を超えた交流を図り、ビジネスチャンス大きく広げました。また、扶桑町商工会ブースでは「メタバース展示会」を実施し、VR ゴーグルを通して仮想空間での新たな商談モデルを提供しました。

メッセナゴヤ 2023

開催風景



1.実績報告（令和 5 年 12 月 1 日時点）

リアル出展（3 社合計）

名刺交換件数	問合せ件数	受注件数 (見込含む)	受注金額 (見込含む)
787	33	10	10,000 千円

オンライン出展（3 社合計）

問合せ件数	引合い件数	受注件数 (見込含む)	受注金額 (見込含む)
10	0	0	0 千円

上記結果より、リアル出展について各項目の 1 社あたりの平均は、名刺交換枚数 262.3 枚、引合い件数 11 件、受注件数（見込含む）3.3 件、受注金額（見込含む）3,333 千円であった。この結果から、名刺交換を行った事業者のうち、約 4.2%は具体的な商談となり、そのうちの約 30%が実際の受注見込みにまで結びついている。今年度は昨年度に比べて、事業者出展が 1 社減のため、件数・金額は減少したが、問合せ件数における受注率が大幅に上昇しており、一定の成果を得られた結果となった。

一方、オンライン出展については受注にまで結びついている件数は 0 であった。今年度はリアル出展の活況がコロナ前の状況近くまで戻ったことに加えて、問合せの内容も参加企業の営業活動が多く見受けられたため、昨年度同様、今年度も具体的な成果は得られなかった。

2.メッセナゴヤ 2023 に出展して感じたメリット (複数回答可)

売上拡大	情報の収集	知名度向上	取引先拡大	その他
2	2	3	1	0

上記結果より、出展したメリットにおいて、今年度の出展者の多くが「売上拡大」「情報の収集」「知名度の向上」を感じている。これはメッセナゴヤが日本最大級の異業種交流会であるため、新たな販路の開拓・拡大を図る機会としてだけでなく、従来ターゲットとしてきた業種・地域以外の幅広い分野・地域における事業者の情報収集や自社の知名度向上を図る機会としても活用できたと考えられる。また、商工会ブースのメタバース展示会においては、仮想空間を活用した商談モデルを紹介するとともに、来場者とメタバース出展事業者をアバター（ネット上での自分）を通して繋ぐ機会を創出することができた。